

キリタイムズ

先月、10月22日に秋田市大森山動物園で「キリン勉強会～トレーニング編～」を開催しました。

116号

2013.11.12

キリンはご存知のとおり、とても大きく、首も脚も長く、背の高い動物です。その体型ゆえ事故も多く起ります。その時々が来たり、また病気にあったりしても、多くの動物のように押さえて治療したり、麻酔をかけて手術したりするのは困難です。今まではそういう時、正確な検査や診断ができません。手の施しようがなかった。見守り続けることしかできなかったのです。

そんなときにすべからず、普段からトレーニングをおこなって、キリンに検査や治療に協力してもらえようとするのです。

今回はトレーニングが最も進んでいる大森山動物園に、全国から27園40名もの関係者が集まり、とても有意義な会となりました！！

★京都市動物園では普段からキリンの血を定期的に神経痛に悩まさないように飼育しています。健康維持に必要です。採血にも挑戦し、サインとミライカーが協力しました。お話を目標します！



今、日本のキリン飼育担当者、熱い！！

タギタゴ

お知らせ

※ キリタイムズは動物園図書館、HPでもごらんになれます。

お知らせ

※ もっと深いおはなし「キリタイムズ」はHPにてごらんください。